

第1回 橿原市本庁舎建設市民ワークショップの結果

開催場所: 分庁舎(ミグランス)1階屋内交流スペース

開催日時: 平成30年3月24日(土) 13:30~

出席者数: 27名

1. ワークショップ実施概要

1.1. 目的

本ワークショップ実施の目的は以下の通りです。

**目的： 橿原市、橿原市民にとっての市役所の役割を皆様と共に考え、
これからつくる新本庁舎のあり方を導くこと。**

- ◆ ナビプラザ、分庁舎を含めた3施設を一体的に市役所の機能と捉え、これからの市民生活やまちづくりに果たすべき役割と備えるべき機能を把握する。
- ◆ ナビプラザ、分庁舎、新本庁舎の役割と備えるべき機能を明確にする。
- ◆ 少人数のグループ形式で話し合うことで、ざっくばらんな雰囲気の中、皆様から沢山の意見をいただく。

1.2. 全体構成

本ワークショップは全2回の実施を予定しています。各回の討議テーマは以下の通りです。

第1回テーマ（平成30年3月24日）
市役所の役割とは何か？

第2回テーマ（平成30年4月21日）
新本庁舎の機能について話し合おう！



これからつくる新本庁舎に必要な機能・役割を導く

1.3. 第1回ワークショップの概要

◆ 当日の流れ

13:30 開会から、ワークショップの目的等を説明し、13:45~15:00 まで新本庁舎建設の背景や留意点、市民アンケート結果、庁舎の整備事例について事務局より説明させて頂き、市民の方々との意見交換の場を設けました。

15:00 から約1時間半にわたって、5つのグループで2つのテーマを元に市民が新本庁舎に求めている機能や役割について討議頂きました。

◆ 討議の内容

下記の2つのテーマに分けて討議をして頂きました。

機能や役割以外の意見については、それぞれのグループで別途集約しています。

表：討議テーマと討議内容

討議 テーマ	①市民のための市役所の役割について考える (30~45分)	②ナビプラザ・分庁舎の機能を踏まえた新本庁舎の 機能について考える(45~60分)
討議内容	<ul style="list-style-type: none">市役所に求める役割について自由に意見を聞く時間を設けました。頂いた意見は、基本的に付箋に書いて残して頂き、なぜその役割が必要と考えるかについて議論を行いました。	<ul style="list-style-type: none">最初に①で聞き取った意見を、機能・役割の視点から分類しました。次に、ナビプラザと分庁舎の機能・役割について情報を共有し、3施設を市役所と捉えながら新本庁舎に求められる機能・役割について議論を行いました。

1.4. 参加人数とグループ分け

H30年2月より、市のホームページ及び広報誌にて公募を行ったところ、29名のご応募をいただきました。

当日は、その内27名の方々にご参加いただきました。

表：グループ分け

グループ	出席者
A	5名
B	6名
C	6名
D	5名
E	5名

2. 第1回ワークショップの実施結果

各グループで得られたご意見を、「新本庁舎建設について」と「ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割について」の2つの項目に分類しました。

意見の分類については、ワークショップ当日に各テーブルでまとめたものを使用しています。

Aグループの意見

●新本庁舎建設についてのご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
新本庁舎の建設に対して考えてほしいこと	<ul style="list-style-type: none">・ 将来人口に基づいた職員数にあった大きさにする・ 新本庁舎に限らず、公共施設においてはニーズに合ったアクセス方法を考えてほしい・ 今ある施設のニーズにあった交通手段の拡大を図ってほしい・ 道路の整備を実施してほしい・ 議会の中継を再開してほしい。例えば他の公共施設で視聴できるようにするなど・ 分庁舎の展望台は観光情報案内が少ない。大和三山、三輪山等、市民は場所が分かるが、他府県から来た人にも分かるように情報案内をしてほしい・ 若者世代が市政に関心を持ち、若者世代の活動を支援できる場にしてほしい・ 市政に目が向かないのは自分の暮らしで手一杯のため。市民の暮らしをサポートできることで市政に関心が生まれる・ HPを見やすくするなど無関心を無くすための仕組みを考えてほしい・ 若者世代が関心を持てる場としてほしい・ 3つめの市役所はもったいない・ 分庁舎の土地にすべてまとめるべきである。一か所が使いやすい・ 窓口を1つにするという事が公約だったのに何故分散するのか・ 分庁舎内のホテルはいらない。ホテルを無くして市内に残っている窓口を持つてくるようにする。新本庁舎はそれからの話である

●ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割についてのご意見

役割の分類	ナビ プラザ	分 庁舎	本 庁舎	意見の概要・趣旨
防災について			✓	・防災機能は必要。物資などを設置できる大きな広いスペースを設ける。
			✓	・災害時に電気やガス等、熱源を確保できるようにする。
			✓	・物資を貯めておけるスペースが必要である。
			✓	・一階に議場を設置するなら、災害対応スペースと一体的なつくりにする。
市民交流 について		✓		・せっかくホテルが出来たのに、なぜ分庁舎の展望台に何も無いのか。
		✓		・分庁舎の観光案内が少ない。
	✓	✓	✓	・若者世代の活動を支える上で、活動の場の側には、子育て支援や預かり機能が必要。
市民サービス について	✓			・ナビプラザはトイレと切符売り場しか機能していない。
	✓			・ナビプラザの機能を増強する。ナビプラザの使い方がわからない。
		✓		・市民（お客様）が、その場でサービスを完結する仕組みにするべき。
		✓	✓	・市民が目的を伝えたら移動せずにすべて完結する仕組みを考えてほしい。
		✓	✓	・総合窓口を設置してほしい。
		✓	✓	・窓口を1つにしてほしい。
議場について			✓	・議場は多目的に使えるようにシンプルにしてほしい。
			✓	・議場の傍聴席及び傍聴席までのアクセスは、バリアフリーに配慮してほしい。
			✓	・市議会場は1Fにパブリックビュー設備を作る。開かれた議会を簡潔に作ってほしい。
			✓	・議場の情報発信をしてほしい。
			✓	・傍聴席やトイレ等、市民に優しい議場としてほしい。
駐車駐輪ス ペースについて	✓			・ナビプラザの駐輪場がない。
	✓			・教室などをやるのであれば、自転車置き場を作ってほしい。

※✓は意見の対象となる施設を示す。

※灰色ハッチは3施設以外を対象とした意見を示す。

Bグループの意見

●新本庁舎建設についてのご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
将来負担を軽減してほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中南和の中心である為に奈良県奈良市に変わる規模の施設にする ・ 一つの施設に人を集約する ・ 住みやすい街にする為、経費の掛からない施設にする ・ あまり施設にお金をかけないようにして建てること ・ 建築は公正な入札にし、安く建てること ・ 万葉ホールはすでに使用料が年間何億もかかっているため、新本庁舎はコストをかけずに建設する ・ 現在から、今後の子供たちに税の負担をかけないようにする ・ 市民皆が気軽にに行けるようにするには、橿原市全域からのコミュニティバスが不可欠である ・ 住んでよかったと思える市にしてほしい ・ 3つも市施設はいらない。ナビプラザはいらないと思う。新本庁舎にすべてまとめたほうが良い
人口増加の戦略が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市、行政の評価は人口問題に総括される。人口増加の為の戦略的施設を設ける ・ 少子高齢化が進むこの市へ少しでも転入者が増加できることを望む
周辺の計画や特徴について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畝傍駅に天皇陛下の貴賓室がある。もったいない感じになっている ・ 八木駅からの動線となる賑わいづくりを行ってほしい ・ 無料利用できる施設が減っている。公民館は申請が必要。複数地域にまたがる、気軽に集まれる場があると良い

●ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割についてのご意見

役割の分類	ナビ プラザ	分 庁舎	本 庁舎	意見の概要・趣旨
市民交流の多目的な広場や機能	✓		✓	・ナビプラザにもドトールなどのカフェをつくる。
			✓	・市民広場を設ける。多機能的な用途とする。
			✓	・広場を防災時に使う。
			✓	・市民が集えるスペースにする。
			✓	・緑地を設け、フリーマーケットを開催する。
			✓	・畝傍駅の雰囲気を受けて、市民が集える様な広場にする。
便利施設の複合化			✓	・学習スペースを併設したカフェを作る。
			✓	・香久山体育館、曾我川体育館のように新本庁舎へもスポーツジムを設置する。
			✓	・道路渋滞が起きないように郵便局を国道165号、24号から遠ざける。
			✓	・保健センターから医師会を移設する
学習・教育の場			✓	・駅前の一等地に建てるので、一市民の利用できるものにする。例えば図書館を併設するなど。
			✓	・図書館は武雄市や葦屋書店を参考に、民間の上手な利用法を考える。
			✓	・学習や会議ができる場所を設ける。
			✓	・何も無い樫原市なので、学校・学生を育てる、教育の補完できる空間を提供する。
アクセス性と利便性について		✓	✓	・分庁舎で不便な所を新本庁舎に活かしてほしい。
		✓	✓	・分庁舎と新本庁舎のアクセスをもっと良くする。
			✓	・行くための道（周辺道路）をもっと広げてほしい。
				・公共交通の使い方を考える。駅と庁舎とのバスのピストン輸送など。
				・新本庁舎前のアクセス整備は最優先。新しく建てるなら考慮すべき。
施設のデザイン性やまちとの一体感			✓	・八木駅から古い街をイメージした路地づくりをする。
			✓	・街の中がすっきり見えるように、余白を多くする。
議場について			✓	・議場は表からガラス張りで見えて多目的に使えるように。（絶対）
駐車駐輪スペース			✓	・有料駐車場とする。
			✓	・市民に負担のない様に駐輪場を。

※✓は意見の対象となる施設を示す。

※灰色ハッチは3施設以外を対象とした意見を示す。

C グループの意見

●新本庁舎建設についてのご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
今ワークショップを行う意味とは？	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも市民意見を聞く前に、場所が決まっていることが問題である ・意見を聞く段階が遅い ・原案は出来ていることが問題である
もし新本庁舎を建てるのであれば	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が使いやすく、利用しやすく、そんな庁舎にするべき ・新旧2か所は無駄である ・全部を1か所にしてほしい ・出来たら役所は1か所にまとめてほしい ・1か所に集約。3箇所に分散ではなく集約してほしい ・分庁舎の土地に全てまとめるべきである ・2か所では時間の無駄がある。すべて回ると時間がかかりすぎる ・新本庁舎に全ての分散している機能をまとめる ・新本庁舎は規模の大きいものはいらない
周辺の計画や特徴を踏まえる	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の計画とも合わせてアクセスを良くする ・庁舎は色々な計画を踏まえて計画するべき
市民サービスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・元々も、分庁舎も、窓口サービスが良いと感じている

●ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割についてのご意見

役割の分類	ナビ プラザ	分 庁舎	本 庁舎	意見の概要・趣旨
防災機能について				・防災の対応には備蓄・交通の改善が必要。 本当に新本庁舎で対応できるのか。
			✓	・防災トイレ機能が必要。
市民交流機能について			✓	・市民が利用できる会議室として開放してほしい。
			✓	・新本庁舎にも総合窓口を作る。
市民サービスや 案内の機能について	✓	✓	✓	・案内が必要。3つの位置、意味を明確にする。
	✓	✓	✓	・案内モニターを使う、3つの施設の利便性をUPさせる。
	✓	✓	✓	・窓口機能に対して分かりやすい案内をする。
	✓			・印刷機が使える。サロンは100人くらいで使っている。
	✓	✓		・サロン、市民協働としての機能は分庁舎にも欲しい。
アクセス性と利便性 について				・バスが主軸になり、市の中を網羅する。
				・コミュニティバスの利便性を上げる。誰でも利用しやすく。
				・前提として交通、アクセスを改善して、利用しやすくする。
	✓	✓	✓	・建物同士のアクセス、利便性を改善する。
	✓	✓	✓	・分散化より、集合できないか。建物を繋ぐ連絡橋を作る。
議場について			✓	・議場はガラス貼りで中が見えると良い。
				・市議の定数をもっと少なくすること。
			✓	・議場でイベントをして、ホール（議場）に市民が足を運ぶ きっかけにすれば、無駄が無くなる。
	✓	✓	✓	・議事のスケジュールをきちんと公開して傍聴しやすくする。
			✓	・見て聞くよりも利用する議場とする。
			✓	・1階に議場で、2階に傍聴席を設置したらどうか。
駐車駐輪スペース	✓			・バスの切符買いに行くが、車・自転車が停められない。
建設のコストや施設規模			✓	・場所が決まっているならコストを下げるのが重要。
			✓	・人が減ることを踏まえて計画する。
			✓	・市民が集まる場所は適切な大きさの中で作る。
			✓	・コストを減らしすぎても市民サービスが低下する。
			✓	・新本庁舎は極力コストを小さく。何かあった時用に広場と して置いておく。

※✓は意見の対象となる施設を示す。

※灰色ハッチは3施設以外を対象とした意見を示す。

D グループの意見

●新本庁舎建設についてのご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
新本庁舎の建設に対して考えてほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・新本庁舎には市民が行かなくなっている。無駄な建物（庁舎）はいらない ・新本庁舎完成時に分庁舎を廃止して、新本庁舎に全て集中させる。分庁舎は売却 ・耐震が心配なので、現位置の事務所、議場をすぐ移転する ・現在の本庁舎は耐震性が無い。至急、建替えてください。 ・分庁舎が2月に完成しました。市民の来庁は分庁舎に多いため、次の新本庁舎には市民の来庁が少ない筈です。建設の際には無駄のない様にすべきです ・新本庁舎を必ずしも防災拠点にする必要はない。別のところでも可能である ・分庁舎について、まず点検と反省をしっかりとすることが大切。反省無くして、新しい良いものの発見はありません
新本庁舎建設等のコストについて	<ul style="list-style-type: none"> ・現有施設を有効利用する ・新しく市有施設を建築すると、負債が増え、先の世代に負担を負わせることになる。人口減、少子化の問題を考えるべき ・補助金も税金であると心得るべき
新本庁舎の計画の決め方について	<ul style="list-style-type: none"> ・新本庁舎案を市が提示して、住民投票を実施すべき ・新本庁舎の場所は、現庁舎地にする必要はない。再検討を。(災害時などでも、車で行きやすい場所に) ・新本庁舎は現位置にこだわらない。既設の万葉ホールを使用することも可能 ・議会で一度決まったとはいえ、場所を変更しても良い
市民の利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が年に1-2回であれば、分庁舎だけである程度用件は済む。コンビニ利用もある ・分庁舎が建設されて、市民の用件、用事のほとんどは分庁舎で済む

●ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割についてのご意見

役割の分類	ナビ プラザ	分 庁舎	本 庁舎	意見の概要・趣旨
防災について			✓	・大地震時に備え、大きなガラス窓は少ない建物にする。
			✓	・交通渋滞の心配が多いにあるので、災害時に機能しなくなるのではないか。
			✓	・災害時の避難所機能に利用できる庁舎にする。
			✓	・大災害時の防災・救助拠点にする庁舎が必要。(備蓄・救助機能も)
			✓	・防災拠点としてヘリポートも必要である。
			✓	・新本庁舎は防災・救援拠点機能を備えた庁舎にする。
市民交流			✓	・会議室があると良い。
			✓	・市の主人公である市民が集い、市議会傍聴など市政に参加しやすい庁舎にする。
学習・教育の場			✓	・小学生の居場所を作る。
			✓	・新本庁舎に、もしできるなら保育園を作ってください。
アクセス性、利便性	✓	✓	✓	・高齢化社会のため、市内全域にかかるコミュニティバスなど庁舎への交通手段の確保をする。
			✓	・新本庁舎ができると、国道を拡幅してくれるので、交通渋滞はマシになる。
議場について			✓	・議場周辺に市民交流スペースがあると良い。
			✓	・市政参加推進のため、市議会の傍聴がしやすく、席数・位置などに配慮したものに。
			✓	・他の用途にも使用できるように多様性のある議場とする。
			✓	・議会用、議場は1F、2Fに。また、議場のレイアウトは対面配置型にして下さい。
駐車駐輪スペース			✓	・多数の自転車を駐輪できる駐輪場が必要。

※✓は意見の対象となる施設を示す。

※灰色ハッチは3施設以外を対象とした意見を示す。

E グループの意見

●新本庁舎建設についてのご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
周辺の交通事情について	<ul style="list-style-type: none">・公共交通機関の存続を行ってほしい・八木西口駅舎と周辺（出入口・広場）を整備してほしい・資料に近鉄八木西口駅がない。八木西口駅には歴史が残っている・八木西口駅は、歴史の今井町の唯一の玄関駅でもある。存続整備こそ必要。・大和八木駅、八木西口駅からの道を確保する

●ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割についてのご意見

役割の分類	ナビプラザ	分庁舎	本庁舎	意見の概要・趣旨
防災について			✓	・倉庫がどこにあるのか分からない。新本庁舎にあると分かりやすい。
			✓	・緊急非常物資が大量に保管できる倉庫を設置する。
			✓	・防災の拠点となり、避難もできる場所があれば良い。
			✓	・周辺の地元住民向け避難所機能とする。
市民サービスや市民ギャラリーの設置		✓		・一部ネット申請できるものもあるが、範囲を広げてほしい。
		✓		・月に1回でもいいので、土曜日曜日に開庁してほしい。
		✓		・申請したものを待つ時間にくつろげるスペースが欲しい。
		✓		・もっと花や音楽にあふれたロビーにしてほしい。(ピココンサートなど)
		✓	✓	・各課窓口をシンプルに分かりやすくする。
		✓		・地域で活躍している人や、地場産業の商品などの展示スペースとする。
観光ギャラリーの設置	✓			・観光客目線の機能を強化する。
	✓			・目玉の紹介をしつつアピール力の強化を図る。
子育て世代・次世代			✓	・新本庁舎への親しみ存在感があってほしい。
	✓	✓	✓	・子育て世代の人たちも集えるような場所があったらいい。
	✓	✓		・サークルやボランティアが無料で利用できるスペースがあると嬉しい。
	✓	✓	✓	・小さな子どもや赤ちゃん連れで来庁した人のための一時託児できるスペースがあったら嬉しい。
アクセス性、利便性				・公共交通機関を存続させる。
				・八木西口駅からの利用しやすさを考慮する。
まちづくりの視点	✓	✓	✓	・市役所へのアクセス道路や広場を整備する。
			✓	・近鉄大和八木駅、近鉄八木西口駅からの道の確保と、どこからでも庁舎に入れるよう設計してほしい。(東西南北の360度)
景観・デザインについて			✓	・分庁舎とデザインを統一する。
			✓	・分庁舎の市役所部分と合わせて低層がよい。
			✓	・分庁舎はホテルと混成で3月にオープンしたが、せっかく取り組む現住地における新本庁舎は3階迄のデザイン・内装等は分庁舎のイメージをスライドした構想とする。
			✓	・今の庁舎は暗いので、明るい壁の庁舎にしてほしい。特に執務室。
			✓	・訪問者も職員も快適な空間にする。
バリアフリーについて			✓	・低層で借地等も含めた隣接土地を有効に、身障者・高齢者優先(専用)駐車場60台程度設置する。
			✓	・高齢者向けの専用駐車場を設置する。
		✓		・エレベーターは待てないので、エスカレーターを設置する。
議会への市民参画			✓	・議会の委員会室はとても狭いので、もっと広いスペースが欲しい。傍聴者も全員委員会室に入れる広さが欲しい。
			✓	・議会のインターネット視聴者が増加。議場が良く見えれば議員もシャキッとする。
			✓	・プロジェクターなど充実した設備を設置する。
			✓	・議会の傍聴は、現在は4階まで階段で上がっている。足の悪い人たちは大変不自由なので、エレベーターを設置してほしい。
			✓	・現在の傍聴席が少ない。
		✓	・傍聴者はトイレに行くのに議場を越えないと行けない。ハード・動線に工夫が必要である。	

※✓は意見の対象となる施設を示す。

※灰色ハッチは3施設以外を対象とした意見を示す。